



「理工チャレンジ」事業説明会

～男女共同参画主管課・教育委員会・学校教員の皆様へ～

令和8年2月12日

内閣府男女共同参画局推進課

理工チャレンジ事務局



目次

1. 概要
2. 理工チャレンジ事業一覧
 2. 1 STEM Girls Ambassadors派遣事業
 2. 2 夏の理工チャレンジ
 2. 3 若手理工系人材による出前授業
 2. 4 動画公開セミナー（シンポジウム）
 2. 5 調査研究
 2. 6 ウェブサイト「理工チャレンジ」
 2. 7 理工系女子応援ネットワーク会議



理工チャレンジ (リコチャレ!) ~女子生徒等の理工系への進路選択を促進~

現状

- ・大学(学部)の理工系の学生に占める女性の割合: 理学系 29.4% 工学系 17.9% (文部科学省「令和7年度学校基本調査」)
- ・研究者の採用に占める女性の割合(自然科学系): 理学系 18.2% 工学系 18.1% (文部科学省調べ 令和5年度)

科学技術・学術は持続可能な発展のための基盤であり、**多様な視点や発想**を取り入れていく必要があります。

そのためには女性研究者・技術者がその能力を最大限に発揮できるような環境を整備することが求められます。科学技術系の進路への**興味関心や理解を向上**させるための取組を推進し、次代を担う**女性の科学技術人材**を育成します。

(第5次男女共同参画基本計画より抜粋・加筆)

根拠

第5次男女共同参画基本計画
女性活躍・男女共同参画の重点方針2025
第6期科学技術・イノベーション基本計画
経済財政運営と改革の基本方針2025

: 第4分野科学技術・学術における男女共同参画の推進 4.女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成
: III あらゆる分野の意思決定層における女性の参画拡大(3) 科学技術・学術分野における女性活躍の推進
: 第2章 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策 2. (1) 多様で卓越した研究を生み出す環境の再構築
: 第2章 賃上げを起点とした成長型経済の実現 4. 国民の安心・安全の確保
(7) 「誰一人取り残されない社会」の実現(女性・高齢者の活躍)



取組

夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・令和7年度実績 129団体235イベント実施(約**8,300**名が参加)

若手理工系人材(ロールモデル)による出前授業

- ・人口5万人未満の市区町村の自治体や学校へ、企業・大学等の理工系人材を派遣

STEM Girls Ambassadorsによる理工系女性人材育成

- ・STEM Girls Ambassadorsを派遣し、全国各地で講演等を開催



リコチャレ応援団体

- ・理工チャレンジの趣旨に賛同する大学
- ・企業・学術団体等 **968**団体(令和8年1月19日現在)

理工系女子応援ネットワーク

リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体 **232**団体(令和8年1月19日現在)

理工系女子応援ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

ウェブサイト「理工チャレンジ」

- ・リコチャレとは?
- ・イベント情報
- ・先輩からのメッセージ
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ
- ・シンポジウム
- ・調査研究等



シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者(ロールモデル)による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性(ロールモデル)提示等

STEM Girls Ambassadors



おすすめポイント！

- 各地方公共団体や学校が実施するセミナー、シンポジウムでの講演に、**理工系の最前線で活躍するSTEM Girls Ambassadors**を派遣します。
- 講師の謝金・旅費は内閣府が負担**しますので、原則申請者の費用負担はございません。

申請先

(URL)
<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0429.html>



STEM GIRLS AMBASSADORS

理工系女子応援大使のご案内

派遣費用は
内閣府が
負担します！



理工系の最前線で活躍するSTEM Girls Ambassadorsが、理工系の魅力をお伝えします。講演会やイベントへの派遣を希望する学校や地方公共団体はお気軽にご相談ください！

●派遣費用については内閣府が負担します。(謝金・旅費) ●主に女子中高生とその保護者を対象としていますが、小学生や男子生徒、その保護者等のご参加も歓迎します。

問合せ先 内閣府男女共同参画局推進課
理工チャレンジ事務局
03-6257-1181
g.riko-challe@cao.go.jp

STEM Girls Ambassadors
派遣申請フォームはこちら

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0429.html>



STEM Girls Ambassadors派遣

【事業概要】

女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するため、理工系分野で活躍する多様な女性の姿（ロールモデル）を示すとともに、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する気運醸成を図ることを目的。ロールモデルの提示策を強化すべく、令和4年度に、メッセージ動画を男女共同参画局公式YouTubeにて公開。

【主な活動】

1. 地方公共団体や学校等において開催されるセミナー、シンポジウムでの講演等
2. 広報誌やWebサイト上でのメッセージ発信
3. その他本事業の趣旨に鑑み相応しい活動

Ambassador一覧（令和8年1月19日時点） ※敬称略・五十音順	
阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル執行役員兼インド現地法人代表取締役会長
杉本 雛乃	経済産業省
ズナイデン 房子	日本マクドナルド株式会社 取締役上席執行役員 CMO
田中 純子	広島大学理事・副学長/ 大学院医系科学研究科特任教授
玉城 絵美	H2L,Inc.CEO、琉球大学工学部教授、東京大学大学院工学系研究科教授
中島 さち子	音楽家、数学者研究者、STEAM 教育者、株式会社steAm代表取締役、一般社団法人steAm BAND代表理事、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー、東京大学大学院数理科学研究科特任研究員
行木 陽子	中央大学 特任教授、NPO法人日本女性技術者フォーラム 理事長
山崎 直子	宇宙飛行士
渡辺 美代子	日本大学 常務理事、NPO法人ウッドデッキ 代表理事



令和7(2025)年度イベント数（予定含む）	
令和7(2025)年度イベント予定数	12イベント
令和6(2024)年度イベント数	
令和6(2024)年度イベント数	16イベント



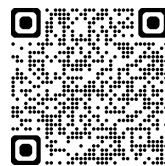
夏の理工チャレンジ

おすすめポイント！

- 生徒の夏休み期間を活用して、全国各地の企業・大学・学術団体等が理工系の仕事体験や女性技術者との交流イベントを実施！
- 生徒の方々が将来を考える一助に！
- 夏休みの課題としても活用いただけます！
- 地元企業・大学等のイベントについて、積極的な広報にご協力ください！

昨年度実施イベントはこちらから

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/event/2025/summer.html>



「夏の理工チャレンジ2026」は、現在実施団体募集中です。特設サイトは5月下旬に公開予定です。お楽しみに！

理工系のお仕事体感しよう！
理工系に進むとどんなお仕事があるの？

この夏、ステキな理工系の未来を探しにいきませんか？

RIKOCHALLENGE SUMMER OF 2026
夏のリコチャレ2026
2026年6月～9月までオンライン・全国各地にて開催！

職場見学・仕事体験・女性技術者や研究者との交流など理工系の仕事や将来に触れられるイベントを開催します。
普段は見られない、ものづくりや建設の現場を見たりステキな理工系女子の先輩の話を聞いたり！貴重な機会です！

くわしくは
内閣府「理工チャレンジ(リコチャレ)」サイトへ
<https://www.gender.go.jp/c-challenge/>

夏のリコチャレ2025 ～理工系のお仕事を体感しよう！～

【事業概要】

- ・主に女子中高生等を対象に、夏休み期間を利用して、企業・大学・学術団体等が実施する理工系女子応援イベントに関する広報事業。
- ・内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会の共催事業。
- ・**職場見学、工場見学、シンポジウム、実験教室、先輩女性社員との交流等**



こども霞が関見学デー「求む！未来の理工系女子！」
(株式会社エスワイシステム・内閣府男女共同参画局)



「マンションのことなら長・谷・工♪ ～マンションミュージアム見学＆マンションにまつわる実験体験ツアー」
(株式会社長谷工コーポレーション)

夏のリコチャレ2025

開催実績

129団体235イベント

8,300名以上が参加



「女子高校生のためのデータサイエンス職場見学ツアー」
(さいたま市、株式会社ARISE analytics)



浜松ホトニクス 夏のリコチャレ2025
「光の性質に触れ、理系女性の働き方を覗いてみよう！」
(浜松ホトニクス株式会社)



若手理工系人材 による出前授業

おすすめポイント！

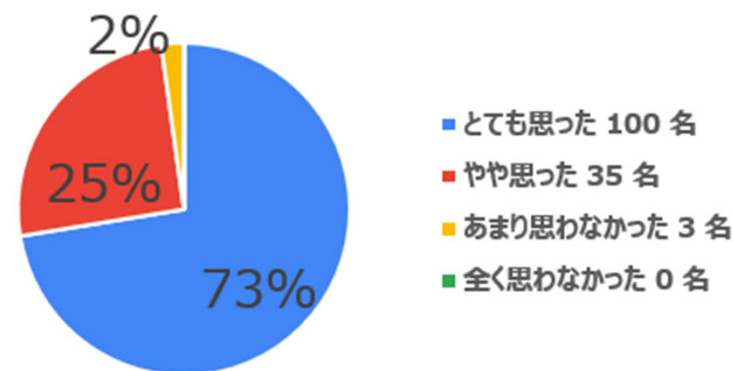
- 人口5万人未満の市区町村を対象に、地元の企業や大学等で活躍する若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業を実施します！
- 内閣府が費用負担しますので、原則各団体の費用負担はございません。
- イベント開催のノウハウが分かるので、今後、団体独自にイベントをする際のモデルケースにもなります。

近日、実施自治体募集します

3月上旬を目途に、令和8年度実施自治体を募集します！

参加を希望する団体は、3月31日（火）までに、内閣府男女共同参画局理工チャレンジ事務局あてに、エントリーシートを提出してください！

イベントを通じて、
理工系の魅力を感じた生徒の割合



令和7年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業

●事業の目的

人口5万人未満の市区町村を重点的に対策すべき地域と定め、若手理工系人材による出前授業を実施することで、女子生徒の理系的体験の機会の創出と、地域におけるロールモデルの掘り起こしを目的とする。

●事業概要

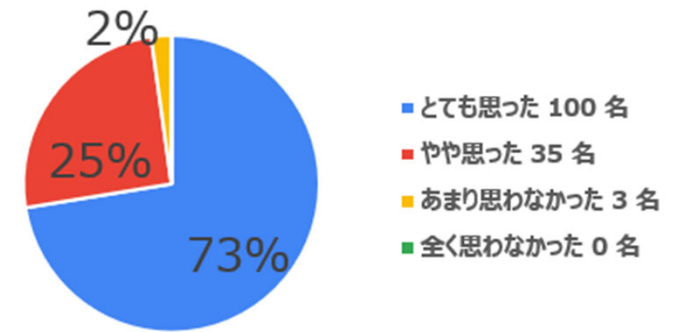
- ・実施地域：5地域（人口5万人未満の市区町村から選定）

実施地域	実施日
京都府京丹後市	令和7年11月08日
福岡県宇美町	令和7年11月16日
埼玉県上里町	令和7年12月20日
香川県多度津町	令和8年1月18日
岡山県笠岡市	令和8年1月24日

- ・参加対象：小・中・高校女子生徒（男子生徒も可）、保護者・教員・地域住民等
- ・参加者数：50名程度（地域の教育委員会や学校と連携して募集）
- ・ロールモデル：理工系分野への従事期間が10年以内の若手女性人材（1地域3名）
（当該地域の地元企業・大学・研究機関等で活躍する理工系人材等）
- ・プログラム：ロールモデルの講演や専門分野に応じた実験等の体験
（2～3時間程度）
- ・参加者アンケート：出前授業の満足度、理工系進路選択への興味関心度、理工系進路選択についてのメリット・デメリット等

●令和7年度開催実績（総括）

- ・延べ参加者数：240名
（うち、児童・生徒：145名、保護者・教員等：95名）
- ・イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒等の割合：98%



【授業の様子】

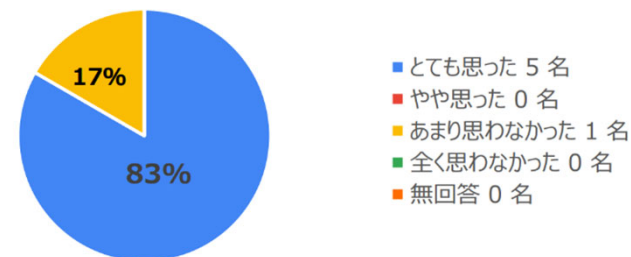


令和7年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業 実施結果（京都府京丹後市）

【令和7年度開催実績（京都府京丹後市）】

参加者数：小・中学生7名、保護者・教員等14名

イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒の割合：83%



【イベント内容】

当日プログラム

13:00 開会のあいさつ 京丹後市(中山 泰 市長)、内閣府

13:10 好きなことからひらく未来 ～先輩たちの物語～

京丹後発ものづくりの力 ～積進で挑戦する働き方～

仲間と力を合わせ課題に挑み、人に喜ばれる瞬間にやりがいを感じています。積進は得意を活かし合い、助け合いながら挑戦を続ける社風が魅力。ものづくりを支える仕事の魅力を伝えます。

講師：株式会社積進 設計課 田中 沙耶香 先生

アイデアをかたちにする仕事 ～理系の学びが広げる未来～

「なぜ？」を考え、解き明かすことが理系の楽しさです。学んだ知識を活かし、ものづくりを通して誰かの役に立てることに、大きな喜びとやりがいを感じています。そんなシステムエンジニアの世界をご紹介します。

講師：システムエンジニア 橋本 理沙 先生

「ひと」を知るためのしっぽ学 ～研究内容の紹介と私のこれまで～

我々は失くしてしまったはずなのに、なぜか気になるしっぽ。しっぽにまつわる様々なハテナ？を考えてみる私の研究をご紹介します。研究するということ、知るということのワクワクが伝わるいいなと思っています。

講師：京都工芸繊維大学 応用生物学系 助教 東島 沙弥佳 先生

15:00 実験教室

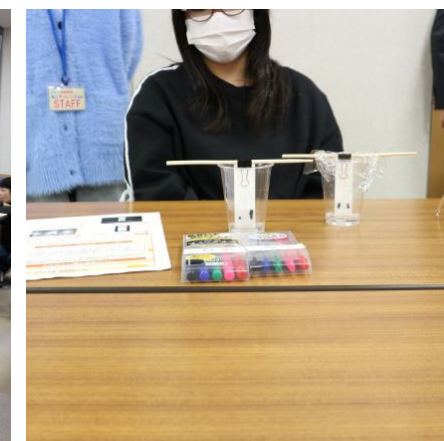
京都教育大学の先生と 化学実験にチャレンジ！ ～色のひみつを探ろう！～



講師：京都教育大学 理学科 准教授
すずき しょうこ
鈴木 祥子 先生

普段使っている布や紙の色は、実は色素という物質がしみこんでいます。実験教室では、身近な色素について調べる実験を行います。色のひみつを探り、科学の面白さを一緒に体験しましょう。

【授業の様子】



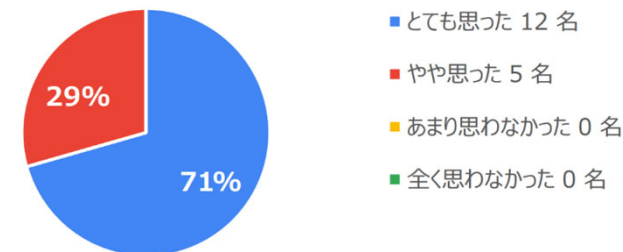
16:00 アンケート、閉会

令和7年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業 実施結果（福岡県宇美町）

【令和7年度開催実績（福岡県宇美町）】

参加者数：小・中学生等 18名、保護者・教員等11名

イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒の割合：100%



【イベント内容】

当日プログラム

10:00-10:05 開会のあいさつ 宇美町・内閣府

10:10-10:55

10歳で芽生えた建築士の夢

～建築士になってみよう！設計にチャレンジ！～



講師：エコワークス株式会社

くぼ ひなり
久保 陽愛 先生

光の入り方や風の通り道、使いやすい動線…。いつも住んでいる「家」にも、科学のチカラがいっぱい！建築士になって、みんなが暮らしやすい間取りをデザインしてみましょう！

宇美中学校出身！



11:05-11:50

「理科はつまらない」が「面白い！」に変わる瞬間

～科学者を支える先生と分析体験をしよう～



講師：佐賀大学 総合分析実験センター 技術職員

もり かなえ
森 加奈恵 先生

製品の安全性や効果を確認する「分析」は、ものづくりを支える大切なお仕事。研究開発に不可欠な分析装置の使い方や、最適な分析方法を一緒に考えます。わくわくする分析の原理を体験してみましょう！



12:00-12:45

「好き」を技術に変える理系のシゴト

～ブロック遊びがAI研究に？～



講師：九州大学 大学院システム情報科学研究所・助教

みやうちしょうこ
宮内 翔子 先生

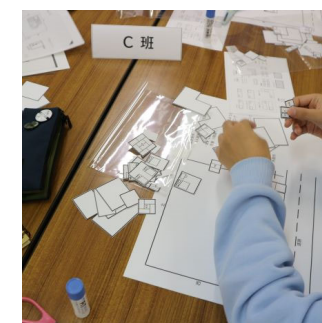
AIは「赤ちゃんの抱っこ」姿勢分析でも大活躍！私が作った最新アプリで、AIの仕組みを学び、抱っこ姿勢を計測してみましょう。みなさんからも「未来の便利アプリ」のアイデアを発表してね！



12:45-12:55

閉会

【授業の様子】

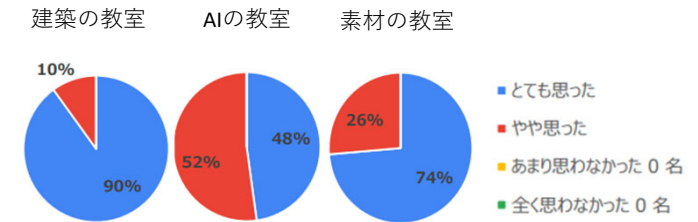


令和7年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業 実施結果（埼玉県上里町）

【令和7年度開催実績（埼玉県上里町）】

参加者数：小・中学生等 64名、保護者・教員等 29名

イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒の割合：**100%**



【イベント内容】

当日プログラム
※教室ごとにアンケート記入+休憩(入替制)

13:00

13:10-14:00

14:10-15:00

15:10-16:00

16:00

開会のあいさつ 上里町(山下博一町長)、内閣府

作って学ぶ建築のおしごと
～強い家ってどんな家?～

講師：小出建設株式会社 一級建築士 **佐野 佳奈 先生**

算数も絵も好きだった私は、建築の世界で“自分らしい仕事”を見つけました。強度実験を通じて、地震に強く、みんなが安心して暮らせる建物を考えましょう。

AIを使いこなして、町を盛り上げよう!
～キャリアチェンジで見つけた、地元で活きる働き方～

講師：株式会社ディーアイケイ 営業サポート部 WEBディレクター **東狐 真央 先生**

医療からITへ!“好き”を仕事にした私と一緒に、AIで「町の課題解決」のワークショップにチャレンジしましょう。誰も取り残さないデジタル化へ、第一歩を。

スライムが大変身! 科学でつくるチカラ
～キャノン技術者と学ぼう～

講師：キャノン・コンポーネンツ株式会社(分析/DX推進業務) **橋本 梨絵 先生**

理科が苦手だった私でも、科学の面白さに出会って未来が変わった! スライム実験で、「なんで?」が「なるほど!」に変わる体験をしましょう!

上里北中学校出身!







建築の教室



AIの教室



素材の教室

【授業の様子】

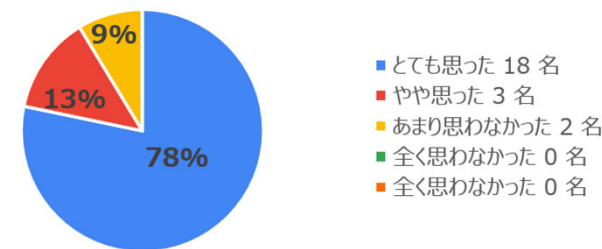


令和7年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業 実施結果（香川県多度津町）

【令和7年度開催実績（香川県多度津町）】

参加者数：小・中学生 26名、保護者・教員等 25名

イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒の割合：91%



【イベント内容】

当日プログラム

13:00 開会のあいさつ 多度津町、内閣府

13:10 建築の教室



講師：株式会社ビルド
新築事業部 二級建築士
むらい かな
村井 加奈 先生

理工系の魅力は実験やものづくりに触れられること。設計の仕事は施主の想いを形にする喜びが味わえます。授業では間取りを描き、CADで立体化し、アイデアが形になる感動を体験しましょう。

講演
体験

“好き”を仕事に！進路えらびと建築の仕事
～建築士のおしごと体験～

14:10 無線通信の教室&化学の教室

トークショー 理工系のシゴトってどんなこと？四国計測工業のエンジニアにきく

講師：四国計測工業株式会社
製造事業本部 電力事業部
ながた かほ
長田 果歩 先生

理工系の学びは、未来を広げる力になります！無線通信は、私たちの生活に欠かせない技術です。授業では、LEDを使ってメロディを送る実験を行います。

講師：四国計測工業株式会社
技術戦略部
のざき まゆ
野崎 真由 先生

新薬の研究開発に興味を持ったことから化学の世界に。授業では、まゆからやわらかいシルクを取り出す実験を行います。





実験

●LEDの光で音を伝える！**光通信実験**

●まゆから糸をとりだす！**シルクの化学実験**

15:50 閉会&アンケート

【授業の様子】

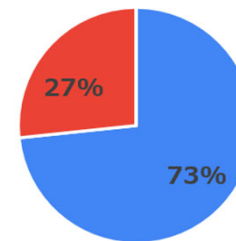


令和7年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業 実施結果（岡山県笠岡市）

【令和7年度開催実績（岡山県笠岡市）】

参加者数：小・中学生等 30名、保護者・教員等 16名

イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒の割合：100%



- とても思った 22 名
- やや思った 8 名
- あまり思わなかった 0 名
- 全く思わなかった 0 名

【イベント内容】

当日プログラム

13:00 開会のあいさつ 笠岡市、内閣府

13:10 発電の教室

環境発電をしてみよう！

～身近なものから電力を生み出すには？～

どんなものから電気ができているか、考えたことはありますか？
仕組みを知ると、いつもの世界がもっと面白く見えてきますよ。



講師：岡山大学 大学院
環境生命自然科学研究科
博士前期課程 2年
いとう かずは
伊藤 一葉 先生



14:05 建築の教室

建築士チャレンジ！～わたし+〇〇の家をデザインしよう～

講師：平野建築設計室
かわた ひいな
河田 陽依菜 先生
(福山大学出身)

自分の住みたい家を思いきり考えてみましょう！
きっと、自分のこれまでやこれからを見つめるきっかけ
になるはずです。



15:00 化学の教室

素材の違いを利用して 製品開発にチャレンジ！

素材には様々な特徴があります。私たち3人と一緒に
製品開発を体験しながら、お客さんの「ほしい」を
形にするものづくりの楽しさを感じてください。



はぎはら
講師：萩原工業株式会社



よこやま みさき
横山 美沙紀 先生
(浅口市出身)



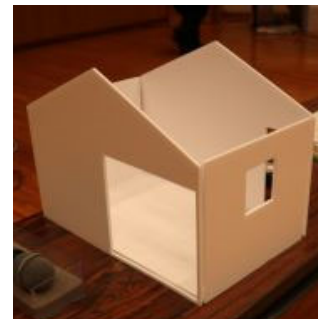
さとう れい
佐藤 鈴 先生
(浅口市出身)



こでら あいり
小寺 愛梨 先生
(笠岡市出身)

15:50 閉会&アンケート

【授業の様子】



進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来2025 動画公開セミナー



おすすめポイント！

- 理工系の様々な分野で活躍する方々による女子生徒等に向けたメッセージ動画を男女共同参画局YouTubeにて発信
- 理系選択の先にどんな未来があるのか、理工系に進んだ先輩方からのメッセージは、生徒の方のみならず、保護者や教員の方にも参考にいただけます！
- 一人5～10分程度の動画で、授業の一環や、夏休みの課題としても活用いただけます。
- 令和8年度も準備を進めています！
公開後、改めてご連絡いたしますので、楽しみに！

動画視聴はこちらから

https://www.gender.go.jp/c-challenge/video/seminar_202507.html



基調講演

田中 純子

広島大学 理事・副学長 特任教授

プロフィール
お茶の水女子大学理学部卒、医学博士（広島大学）。専門は疫学、特にウイルス肝炎の疫学。2009年広島大学大学院教授を経て現職。ウイルス肝炎の疫学研究を国内外で実施し、医療施策へ貢献。中国文化賞（中国新聞社）、ロイヤル・モニサラボン勲章（カンボジア王国）、Elimination Champions 2023（Task Force for Global Health, CGHE）等受賞

理系で広がる
私の未来
2025



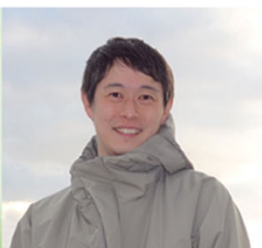
講演

村上 慧

関西学院大学 理学部化学科 准教授

プロフィール
2012年京都大学大学院工学研究科材料化学専攻博士後期課程修了
博士（工学）の学位を授与
2012年 日本学術振興会 特別研究員（PD）
2013年 京都大学白眉センター 特定助教
2014年 名古屋大学物質科学国際研究センター 助教
2016年 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任准教授
2020年より現職

理系で広がる
私の未来
2025



理系で活躍する先輩による経験談発表

竹下 未来

パナソニック ホールディングス株式会社
M I 本部 先進メカトロニクスシステム開発センター
先進メカトロニクス開発一部 制御開発課 シニアエンジニア

プロフィール
福岡県出身。高専卒業後、九州工業大学情報工学部へ編入し、2021年に同大学大学院で博士前期課程を修了。学生時代は身体の状態を測定するセンサを3Dプリンターでつくる研究に取り組む。大学院修了後は、「ものをつくるための機械」を設計する仕事にしたい、という思いからパナソニック ホールディングス株式会社に。現在は、次世代半導体や再生医療向けの装置開発を担当。

理系で広がる
私の未来
2025



永塚 尚子

海洋研究開発機構 地球環境部門
地球表層システム研究センター 副主任研究員

プロフィール
電気学・地球化学の研究者。千葉大学理学部地球科学科で初めて氷河に出会い、その魅力に惹かれて、同大学院理学研究科（現・総合理工学部）の修士課程および博士課程への進学を決意。2013年に学位を取得後、国立極地研究所の研究員を経て、2024年より海洋研究開発機構の副主任研究員。
これまで、アラスカやグリーンランドをはじめとする世界各地の氷河や噴霧を行い、ミクロなサイズの氷粒から、地球規模の気候・環境変動を解明することに取り組んでいる。

理系で広がる
私の未来
2025



北村 由羽

日東電工株式会社 全社技術部門 研究開発本部
分離技術開発センター 研究員

プロフィール
2018年3月 関西学院大学 理工学部 化学科 卒業
2020年3月 関西学院大学 理工学研究科 化学専攻 修士課程 卒業
2023年3月 関西学院大学 理工学研究科 化学専攻 博士課程 卒業
2023年4月 日東電工株式会社 新卒入社
炭水素素子のR&D部門に配属
現在入社3年目で、環境貢献テーマに従事

理系で広がる
私の未来
2025



山下

合志技研工業株式会社
合志製造部 機種計画課 試作係

プロフィール
合志技研は、バイクの排気部品（マフラーやエキパイ）と、フレームをメインに製作している会社です。私はモノづくりが好きで、かつ、バイクも好きなのでこの会社に入社することを決めました。入社して2年間は、開発段階（発売前）の排気部品を溶接して試作する業務に携わり、現在は、試作した部品を測定し検査を行う業務に携わっています。
学生時代に得た、図面を読む、描く力、工作機械の技術、溶接の経験はフル活用して仕事をしています。

理系で広がる
私の未来
2025





調査研究

おすすめポイント！

- 令和2年度調査研究では、教員等の指導者の方々へ向けて、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を払しょくするための啓発資料を作成しました。
- 令和4年度調査研究では、保護者や教員の方々に向けて、アンコンシャス・バイアスへの気づきを促すことを目的とした動画を、男女共同参画局YouTubeチャンネルにて公開しました。
- 令和5年度調査研究では、理工系分野の魅力を知らせてもらうことを目的として身近で多様なロールモデル事例集を作成しました。
- 令和6年度調査研究では、各地域の大学・高専向けに、理工チャレンジプログラムの具体的な実施内容や実施手順の事例を示した「理工チャレンジプログラム（モデル）」を作成しました。
- これらの資料・動画・事例集を是非ご活用ください！

調査研究等の資料はこちらから

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/materials/index.html>



令和2年度

男女共同参画の視点を取り込んだ
理数系教科の授業づくり

～中学校を中心として～



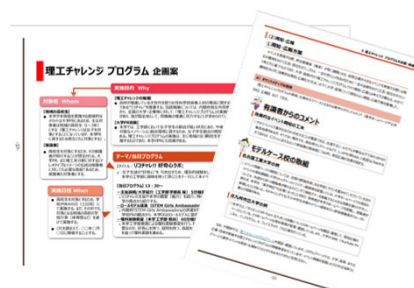
令和4年度



令和5年度



令和6年度



令和2年度調査研究 男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり ～中学校を中心として～

【事業概要】

教員等の指導者の方々へ向けて、

○男女共同参画の視点の必要性

○無意識に持っていた固定概念・考え方や言動への気付き

＜無意識に行っている言動＞

- ・テストの点数の良かった女子生徒に、「女子なのに数学／理科ができて、すごいね」と言葉をかけている
- ・理科の実験授業において、操作は男子、記録は女子、という生徒間の役割分担が自然とできており、それに任せている

○男女共同参画に配慮した理数授業の事例

○教員のアドバイスをきっかけに理数系に進んだ女性の事例

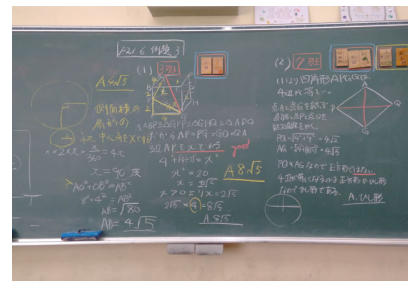
等から構成される、啓発資料「男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり～中学校を中心として～」を作成。



▲じゃんけんをしながら確率を計算する様子



▲授業で生徒が作成したイルミネーションの一部



▲生徒が実際に行った板書発表の内容

⇒ 文部科学省と連携して普及を図り、教員等の指導者の無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の払しょくに取り組む。

※文部科学省から都道府県教育委員会に対し通知を発出し、文科省HPにリンクを掲載。

啓発資料

第3章：H頃のふるまいを振り返ろう

■第3章の目的

この章では、誰もが持っているアンコンシャス・バイアス（潜在的に持っている思い込み）に自ら気づき、男女共同参画の視点に配慮した授業の実現に向けたふるまいや生徒との接し方についてどのように改善の思いを明確にするための活動を紹介する。

なお、本書の第2章「自分を知ろう」に掲載していた「啓発者」の振り返りシートも、自身のバイアスに気づくための1つの方法です。

■「啓発者」を描いてみてくださいの解説

自分が書いた啓発者の絵を、以下の観点で振り返ってみよう。

人種	性別	職業・経
髪型	居場所 (どこにいるか)	行動 (何をしているか)

○「イギリスとアメリカの学校でこの活動を実施したところ、大多数の生徒が白人で、眼鏡をかけ、髪を束ね、赤い服を着た女性を想像した男性が、 $1+1=2$ のような簡単な式が書かれた黒板の前に立っている絵」を描きました。

○「近年の研究によると、社会の男女平等が進んでいるにも関わらず、女性を数学者として認識している人は男女とも非常に少ないことが指摘されています。また数学者のみならず科学者についても同様の実験結果が出ています。こうした状況を改善するには、理数分野における女性のロールモデルを知り、過去に数学者として認められた女性や数学者の活躍を伝えることが重要であると考えられています。振り返ってみていかがでしたでしょうか？ 数学者やその他の研究者を題材にしたり、生徒と一緒に実験してみたり新たな気づきを得ることができればよい。」

[キーワード] 男性領域/ジェンダー・ステレオタイプ

■指導者教育事例

2020年にオーストラリアのビクトリア州で公開された啓発者プログラムに掲載されている活動の中から、本書では啓発者に以下の3つを紹介する。

いずれの活動も他教科にも応用でき、特別な教材等は必要なく、手軽に実施できるものばかりです。教育センターや各学校現場で実施する教員向け研修のワークショップなどに取り入れてみてください。また、教員と生徒と一緒に取り組めるものもありますので、授業の一環として活用いただくことも可能です。

No.	活動名	対象者	活動概要
1	アンコンシャス・バイアス対決	教員	✓ 疑似的に作成した生徒のプロフィールを見ながら、その生徒の将来について教員が結論を出す
2	数学者に対する態度	教員・生徒	✓ 生徒に向けたアンケートを実施し、教員が結果を分析する（生徒が結果を分析することも可能である）
3	授業の観察	教員	✓ 教員が同僚の授業を観察し、男女を公平に扱っているかチェックする

出典: Hoggan, H. R. Gender and Mathematics (Secondary) Materials, Issues in the Teaching of Mathematics, State of Victoria Department of Education and Training, 2020.



▲男女別グループでの実験の様子

令和4年度調査研究 女子生徒の理工系進路選択を阻害する アンコンシャス・バイアスへの気づきを促す啓発動画

【事業概要】

- ・「女子は数学が得意ではない」等のアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が、女子生徒の理工系進路選択を阻害することがあります。
- ・そうしたアンコンシャス・バイアスへの気づきを促すことを目的とした動画を、男女共同参画局YouTubeチャンネルにて公開しました。
- ・動画は、学校の授業や実験における教員の声掛け、家庭における保護者の反応など、4つの事例から構成されています。

★動画は下記より御覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=j97LxeLB-TQ>

Case1



★数学で高得点を取った女子生徒に教員が掛けた言葉は・・・

Case2



★理科の実験で器具操作と記録の役割分担が指示されるが・・・

Case3



★ガスバーナーの扱いに慣れていない女子生徒への教員の配慮は・・・

Case4



★工学部の大学案内を見て楽しそうに話す女子生徒への母親の反応は・・・

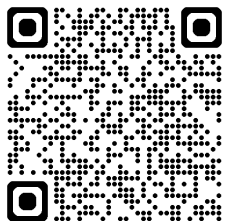
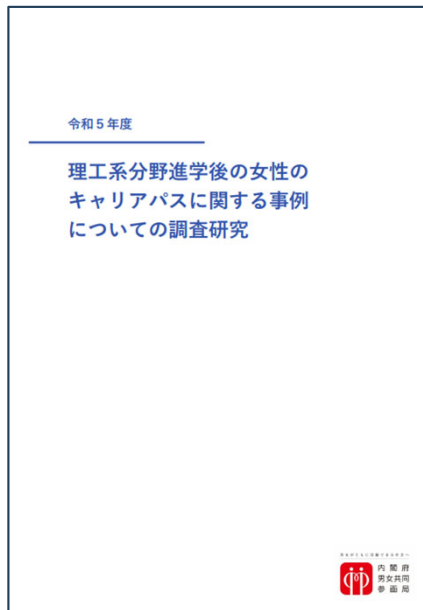


令和5年度調査研究 理工系分野進学後の女性のキャリアパスに関する事例についての調査研究

【事業概要】

- ・理工系分野出身の女性を取り巻く状況について、調査・研究を行い、理工系分野への進学を支援する資料・情報を掲載した報告書の作成、及び、理工系分野出身の社会人女性に対してヒアリング調査を行い、彼女たちの経験や考えを広く紹介する広報冊子を作成しました。
- ・性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）やキャリアと家庭の両立の大変さなど、さまざまな要因が女性の進路選択を制限しています。こうした課題を乗り越えるために、保護者の方々および教職員の方々にはぜひとも本調査研究報告書や啓発資料を活用いただき、未来ある女子中学生・女子高校生等に新たな可能性を示していただければ幸いです。

報告書



報告書は、
二次元コードよりご確認ください。

図2 OECD 諸国における理工系分野への大学等入学者に占める女性割合 (2021)

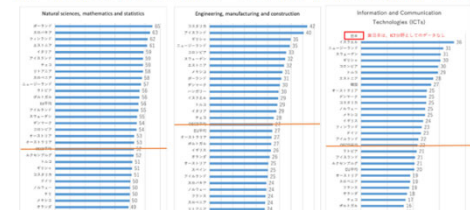


図1a PISAにおける15歳時点の先進11か国グループ (G10) 1
男女の数学の平均点 (2022)

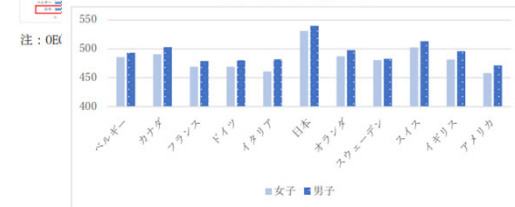
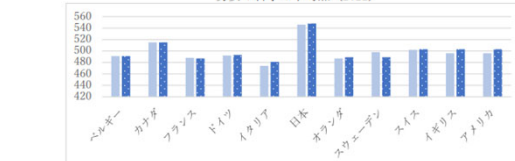
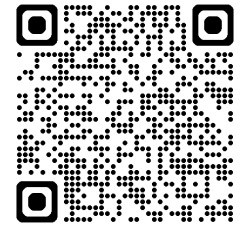


図1b PISAにおける15歳時点の先進11か国グループ (G10)
男女の科学の平均点 (2022)



広報冊子



広報冊子は、
二次元コードよりご確認ください。



令和6年度調査研究 理工チャレンジプログラム（モデル）

【事業概要】

- ・今後、女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進させていくためには、これまでの取組に加え、各地域における「理工チャレンジプログラム」の実施数を増加させていくことが重要であると考えています。
- ・そこで、各地域の大学・高専向けに、理工チャレンジプログラムの具体的な実施内容や実施手順の事例を示した「理工チャレンジプログラム（モデル）」を作成しました。
- ・各大学・高専におかれましては、本資料を参考に、ぜひ、理工チャレンジプログラムの実施に取り組んでいただくようお願いいたします。



理工チャレンジ プログラム(モデル)

Riko Challenge Program Model

理工系分野に
チャレンジする
女子生徒を
応援します！

大学・高専が実施する女子生徒等の 理工系分野への進路選択を促進する取組を応援します！

政府では、女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をイメージして進路選択（チャレンジ）することを応援するため、内閣府男女共同参画局が中心となって「理工チャレンジ」を行っています。

今後、女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進させていくためには、各地域における「理工チャレンジプログラム」（女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するためのイベント形式で実施される取組）の実施数を増加させていくことが重要です。

そこで、各地域の大学・高専向けに、理工チャレンジプログラムの具体的な実施内容や実施手順の事例を示した「**理工チャレンジプログラム（モデル）**」を作成しました。各大学・高専におかれましては、本資料を参考に、ぜひ、理工チャレンジプログラムの実施に取り組んでいただくようお願い致します。

理工チャレンジプログラムの内容（抜粋）

「リコチャレ」の紹介

理工チャレンジプログラムをする意義・学校経営上のメリット

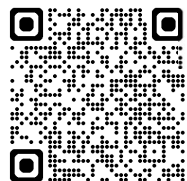
理工チャレンジプログラムの企画、周知・広報、準備・当日運営

モデルケース校の取組内容・工夫

担当者対談

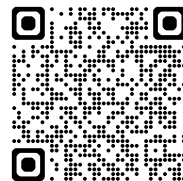
ダウンロードはこちら

理工チャレンジ プログラム(モデル) は、右記のリコチャレホームページにてダウンロードいただけます。



👉【本編】は、
こちらからご確認いただけます。

【パンフレット】は、
こちらからご確認いただけます。👉



ウェブサイト「理工チャレンジ」



おすすめポイント！

- 「理工チャレンジ」に関する様々な情報を発信
- 特に、先輩からのメッセージでは、約300名の理工系分野で活躍する先輩方が「理工系分野に選択した時期・理由」「現在の仕事の魅力や面白さ」を教えてください。具体的なイメージが湧き、ロールモデルも見つかるはずです！
- 気になる先輩に質問することも可能です。ご質問お待ちしております！

先輩からのメッセージはこちらから

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/senpai/index.html>



先輩からのメッセージ

▶「先輩からのメッセージ」のトップページに戻る



酒井 希実さん

▶[旭建設株式会社](#) 工事部アセットマネジメント部門

2017年に入社し、工事全体の管理やICT関連業務など、現場に携わった仕事をこなす、土木技術者として働き出し二年が経ちました。大学を卒業するまで、土木についての勉強をしたことはありませんでしたが、その分、日々新しい発見があり毎日が勉強で、充実した日々を過ごしています。



理工系分野を選択した時期・理由

短大2年生の時に、合同説明会で聞いた「地域に残る仕事」「地域の為の仕事」という言葉に感銘を受けて入社を決意しました。自分の住んでいるところが自然に囲まれていることもあり、自然に携わる仕事したいと思ったこと、そしてずっと住んできた地元の為に何かしたい！そう感じたことも土木技術者の道に進むきっかけになりました。

現在の仕事（研究）の魅力やおもしろさ

橋を架けたり、道路を作ったり、様々な工種を経験できることが魅力的です。そして、現場は毎日少しずつ完成に近づいていく、そんな日々変わる現場を間近で見られることも、現場に携わる人たちの特権だと思います。そして、学生の頃に経験した「何かを成し遂げる為に、みんなで頑張る」という行為も経験できます。それも、現場毎に関わる人が違う為、その都度新しい喜びを得ることができます。『苦労した分、達成感がある』建設業界にはこの言葉がピッタリだと思います。

女子中高生・女子学生の皆さんへのメッセージ

『土木』と聞くと、毎日汗を流し、泥まみれになりながら頑張る仕事…そんなイメージをもたれる方が多いと思います。私もそう思っていました。実際は3次元のデータを作成したり、業者の方と打ち合わせをしたり、対外的な仕事が大半をしめています。安全かつ期限までに工事が完了できるよう様々な仕事をこなしていく、それが建設業です。普段何気なく通っている橋や道路を、実際に作る側になってみると、ありがたいと思うことが増えました。前に担当していた現場では高速道路の基礎をつくる工事をしていたのですが、その場所を通るたびに「私が関わった場所だ」と達成感を覚えます。私達の仕事は、今も未来も大切にするお仕事です。自分の大好きな地域を守り・支えていける建設業界と一緒にチャレンジしてみませんか？

21



理工系女子応援ネットワーク会議

おすすめポイント！

- 「夏の理工チャレンジ」の振り返りとして、毎年10月前後に開催。先進的な取り組みをした団体による事例発表やグループディスカッションを実施。
- グループディスカッションで、各企業・大学等が自治体・学校の方に期待していることについて、**生の声が聴ける。**
- 会議後は、希望者間で、連絡先の共有が可能。**横のつながりが生まれます。**

理工系女子応援ネットワーク会議 資料はこちらから

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/dantai.html>



第9回 理工系女子応援ネットワーク会議 開催報告



1 開催概要

内閣府は令和7年10月22日（水）に「第9回 理工系女子応援ネットワーク会議」を開催しました。オンラインで開催し、全国から81団体・103名にご出席いただきました。

2 理工系女性人材の育成に係る取組説明、夏のリコチャレ2025報告

内閣府・文部科学省より、科学技術・学術分野における現状と課題、理工系女性人材の育成のため施策について説明しました。その後、「夏のリコチャレ2025」イベント実施団体へのアンケート結果を踏まえて、今年度の振り返りを行いました。「夏のリコチャレ2025」では、129団体により、235のイベントが行われ、約8,300名の方が参加しました。

3 夏のリコチャレ取組事例発表

株式会社 長谷工コーポレーション、さいたま市・株式会社 ARISE analytics、浜松トニクス株式会社より、リコチャレの取組事例を発表いただきました。

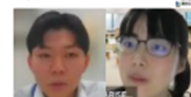
<実地開催の事例> 株式会社 長谷工コーポレーション

当日は、会社紹介、マンションミュージアム見学、技術研究所にて実験体験の3部構成で実施し、小学生班、中学生班に分けて進め、実験内容を年齢ごとに異なるものに工夫した点を報告いただきました。また、広報については、公式LINE配信、公式HPへのバナー掲載、近隣中学校・高校へのチラシ送付の3種類を実施し、ほぼLINEからの申込で配信当日に定員に達し、応募を締め切った事例を報告いただきました。



<自治体と企業共催開催の事例> さいたま市・株式会社 ARISE analytics

さいたま市からは、さいたま市の公民連携に取り組むための民間提案制度を利用した共催の経緯について報告いただきました。株式会社 ARISE analyticsからは、データサイエンティストの仕事体験等リコチャレの取組概要と課題点等について報告いただきました。今年度が初めての開催ということもあり、集客に苦慮したため、来年度はイベントの周知強化に取り組みたいと説明いただきました。



<オンライン開催の事例> 浜松トニクス株式会社

光に関するセミナーや光を活用したワークおよび女性従業員との懇談会を5年連続で開催していることを報告いただきました。また、今年度は社内部署横断のプロジェクトチームにて、光の体験ワーク、理工系女性社員との懇談会等をオンラインで実施したことを報告いただきました。リコチャレを通して、理工系女性が働くことについて情報発信ができ、参加者、開催者、双方にとって有意義なイベントとなったと考えていると説明いただきました。



4 グループディスカッション

本会議には、夏のリコチャレや独自の取組によりイベントを実施いただいている団体、イベントの実施を検討している団体等、様々な団体に御参加いただきました。グループディスカッションでは、イベントを実施した団体が工夫点やノウハウを発表し、イベントの実施を検討している団体からは積極的な質問がなされるなど、参加者の間で活発な意見交換がなされました。

理工系女子応援ネットワーク会議

【事業概要】

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体を主な対象として開催。
取組に関心のあるリコチャレ応援団体と、自治体も参加
- ・令和7年度は10月22日にオンラインで開催 81団体・103名が出席。
- ・事例紹介、情報交換、団体間ネットワーキング等、今後に向けた連携強化を行う



【令和7年度開催内容】

1. 理工系女性人材の育成に係る取組説明、夏のリコチャレ2025報告（内閣府・文部科学省）

2. 取組事例発表

○ 株式会社 長谷工コーポレーション < 実地開催の事例 >

- ・リコチャレの取組概要とプログラムにおける工夫点について
- ・SNS等を活用した広報事例について 等

○ さいたま市・株式会社 ARISE analytics < 自治体と企業共催開催の事例 >

- ・さいたま市の民間提案制度を利用した共催の経緯について
- ・リコチャレの取組概要と課題点等について 等

○ 浜松ホトニクス 株式会社 < オンライン開催の事例 >

- ・これまでのリコチャレ開催実績について（5年連続で開催）
- ・社内部署横断のプロジェクトチームでの実施について 等

3. グループディスカッション

- ・イベント実施済みの団体からイベントや集客の工夫点の情報共有
- ・イベント実施に関する疑問点の質問確認、意見交換 等

